



高山村立高山中学校

学校だよりNo. 2

令和5年7月24日



充実した時を過ごした1学期がおわりました

4月、52名の新生を迎えて令和5年度をスタートしました。

新型コロナウイルス感染症に対する対策が緩和され、制限がなくなりましたが、感染拡大を防ぐ対策はとりながらの生活です。学習活動は、昨年度と比べ活動的になってきています。そのなかで、学校重点活動の1つでもある「聴き合い、語り合い」を軸に学習を進めてきました。自分の考えをもち、友の考えを聞くことで自分の考えが広がったり新しい発見があったりしたことでしょう。そして、一人一人が高みゆく1学期となったのではないかと思います。もちろん課題もあります。その課題は2学期からの生活のエネルギーとして、2学期はより高山中学校の生徒一人一人が輝くことを希望します。

保護者の皆さま、地域の皆さま方、高山中学校生徒のために全面的なご理解と多大なご協力をいただき、感謝申し上げます。そして、2学期もご支援、ご鞭撻よろしく願いいたします。



* 1学期終業式 各学年代表生徒の発表 *

「一学期の成果と二学期の抱負」

1学年 代表生徒

僕は、一学期に頑張ったことが2つあります。

1つ目は、清掃です。清掃では、教室棟一階の廊下を掃除しました。はじめのころは時間が足りず、全部時間通りできなかったですが、少しずつできる部分が増え、今では時間通り終わるようになりました。最近では、時間に余裕ができ物をどかして掃除をしたり、細かいところまでできるようになったりしてきたので今後も続けていきたいです。二学期では、無言清掃と気づきの清掃をして、より細かいところを掃除したいです。

2つ目は、勉強です。勉強では入学してからすぐ、ベネッセテストがありました。そしてそのあと、中間テストと期末テストがありました。中間テストと期末テストでは、苦手な教科がよくわかったので二学期では苦手な教科を重点的に勉強したいです。

最後に、二学期への抱負です。二学期では、苦手な教科のふり返し、次のテストに向けての学習をしっかりと一学期よりもいい点数をとれるように努力したいです。これで発表を終わります。



* 1階廊下は、1年生が7名で清掃をしています。1人が水盤、2人がホウキで、4人が雑巾がけです。2組の端からスタートするホウキ

1人と雑巾2人，渡り廊下からスタートするホウキ1人と雑巾2人が学習室前で会えば終了です。誰もが黙々と清掃に打ち込みます。廊下に置いてある，机やTV，ゴミ箱も動かしてホウキ，雑巾をかけます。窓辺の溝も試行錯誤しきれいにします。ときどき虫に遭遇しますが，誰かが素早く対応しています。2学期どんな成長を見せてくれるか楽しみです。

「一学期がんばった事と，二学期の抱負」

2学年 代表生徒

私が一学期がんばった事は，2つあります。

1つ目は，社会体験学習です。私は一茶館に行きましたが，行く前はすごく不安で，足を引っぱってしまわないか，きちんと仕事ができるかなどと，ずっと考えていました。でも行ってみると，皆さんすごく優しくしてくださり，分かりやすく説明していただいたので，二日目からは，緊張することなく働くことができました。職員の方はお客様と話す際にみなさん必ず笑顔で接していて，次第にお客様も笑顔になっていきました。笑顔は明るい雰囲気や，話しやすい状況を作るのだと改めて感じ，私も今後は人と話す際は笑顔を大切にしようと思いました。

2つ目は，テスト勉強です。そろそろ受験の事も意識していかななくてはと思い始めて，家庭学習を自分から進んでやるようにしました。でも自分だけだと分からない事や，理解できない事も多いので，友達に教えてもらったり，先生に教えてもらったりしました。そのおかげで，少しずつ分かるようになってきました。でも，まだまだ分からないことが沢山あるので，今後がんばりたいです。

二学期では，一学期に達成できなかったことを達成できるようにしたいです。特に日々

の学習への取り組みを改善したいです。ワークをくり返し行ったり，分からないことがあったら，そのままにしないで，調べて理解したりすることを大切にしたいです。また，授業にも集中して取り組み，自分の力で問題を解けるようになることを目指したいです。また，苦手な体育もできない事をすぐにあきらめたり，さけたりせずに，上手くなれるように粘り強く練習したいです。一学期は中途半端な気持ちで取り組んでいたため，二学期からは，目的をしっかりともち，意欲をもって取り組みたいです。



*写真は，かたぎりさんで社会体験学習を行っている様子です。村内の皆様には，お忙しい中，社会体験学習を受け入れてくださり，ありがとうございます。生徒は，学校では，学べない多くのことを学んできました。また，仕事をする事の大変さを身にしみ感じてきたようです。社会体験することで，気がついた自分の長所や短所もあるでしょう。この経験を今後の学校生活や，生き方の糧にして欲しいと願っています。

「一学期をふり返って」

3学年 代表生徒

四月に三年生になりました。ぼくは，中学最後の一年，なんでもがんばりたいと思いました。そう思えたのは，クラスみんなのおかげです。みんなとてもやさしくて，なにかあると「大丈夫だよ。」と言ってくれます。一緒にいると安心できる存在です。そして，ぼくのクラスは，勉強や生徒会をすごく頑張るクラスです。正直，ぼくはみんなより勉強

は得意ではありません。でも、努力をすれば今までできなかったことも少しずつできるようになるということ、クラスのみんなの姿を見て学びました。それから、ぼくのクラスの担任の先生は、とてもきびしいです。だけどそのおかげでぼくも変われるようになりました。クラスのみんなや担任の先生には、本当に感謝しています。

そしてぼくには、去年の体育祭ですごく思い出に残っていることがあります。それは、総力リレーで負けてしまった時の出来事です。ぼくは、リレーに負けたのは自分のせいだと思っていたのに、みんなはぼくを責めるのではなく、逆になぐさめたりはげましたりしてくれました。そのことを校友の作文に立候補して書けばよかったと後悔しました。だから今は、いまできることをなんでもしたいと思うようになりました。

この一学期、授業の中で自分から発言するようにがんばりました。また、自分の目標を達成できるように勉強をがんばってきました。二学期は、自分の進路の目標に向かって勉強をもっとがんばっていきたいと思っています。

*3年生の授業を参観すると、誰もが真剣に取り組む姿があります。1人になって黙々と課題に取り組む場面や、友と英語を使ってコミュニケーションする場面、先生の話に真剣に聞き入る場面、友に解き方ややり方のアドバイスをもらい取り組む場面など、どの場面においても学習に真摯に向き合っています。学校で学ぶことの意味は、友と切磋琢磨して学ぶことにあると実感します。互いに良い影響をもたらしつつ成長しています。



1 学期終業式 学校長の話

1学期は新型コロナウイルスによる制限が徐々に緩和され、コロナ禍前のような学校生活に戻りつつありました。そのような中、みなさんは頑張り、今日で70日を越える1学期が終わりになります。1学期始業式でお話した、高山中学校の3つの重点活動、「無言・気づきの清掃」「響き合う歌声・挨拶」「聴き合い、語り合い」の実現を目指し、みんなとても頑張っていました。みなさんの良い姿をたくさん見ることができ、私はとても嬉しかったです。2学期も継続させ、この3つの重点活動について、全校がワンチームとなってさらに磨きをかけていって欲しいと思います。

さて、今日はまずこれを見てください。「異次元の進化 最速7冠」と書いてあります。これは、6月に高山村で行われた将棋の「名人」戦で勝利し、将棋のタイトル7冠目を達成した藤井聡太さんについてのことです。今日は、この藤井さんについて、藤井さんのすごいところを紹介したいと思います。

将棋のタイトルは全部で8冠あるそうですが、（8冠とは「棋聖」「竜王」「名人」「王位」「叡王」「棋王」「王将」「王座」）藤井さんは今回の高山村での対局で勝ち、そのうちの7冠目を獲得しました。しかもその年齢は、以前7冠を達成した羽生善治9段が、25歳4ヶ月でしたが、今回藤井さんは20歳10ヶ月で4歳以上早く7冠を達成したのです。藤井さんは、5歳から将棋を始め小学校4年生の時には、「名人をこす」と将来の夢を自己紹介カードに書いていたそうです。そして、14歳の時にはプロの棋士となり、デビューからいきなり29連勝しました。そして、今回の「名人」戦を勝利したこと

で、小学生の頃から持っていた夢を、実現したのです。

藤井さんは小さい頃から将棋の手を考えると「符号」で読みを進めていたそうです。符号とは「3一銀」とか「3二金」のように、駒の位置や動きを表す文字のことです。多くのプロの棋士は頭の中で将棋の盤面をイメージしながら読み進めるのですが、藤井さんは「符号」で読み進めるのだそうです。藤井さんが小さい頃に書いた将棋ノートには、このように「符号」がびっしりと書き込まれています。これが、今の藤井さんの驚異的な読みを支える基盤となっているのだそうです。他のプロ棋士も、藤井さんの「符号」で読み進めるやり方に驚くと共に、なぜそれができるのか理解できないのだそうです。このようにして、他のプロ棋士も、そしてAIも簡単には気づくことのできない、最も良い手を藤井さんは指しているのだそうです。そして、その強さは藤井さんの謙虚さと努力の積み重ねによって作られている、とも言われています。将棋の17世名人である、谷川浩司さんは、藤井さんの将棋について「藤井さんはAI（人工知能）で強くなったわけではない。もちろん全ての棋士がAIを使いながら研究を進める中で、藤井さんの分析力と吸収力が優れていることは間違いない。ただそれよりも、実戦の未知の局面、答えの出ない難解な局面で、自分の力だけで考え抜いたその積み重ねで圧倒的な実力を付けたのである。」そして、「藤井名人の全冠（8冠）制覇の可能性はかなりある。」とも語っています。

今後、藤井さんは今までに獲得したタイトルの防衛をしながら、将棋の全てのタイトル制覇である8冠まであと一つである「王座」戦に向け、挑戦者決定トーナメントを勝ち抜き挑戦者となる必要があります。そして「王座」のタイトル戦5番勝負に勝って「王座」獲得となり、8冠達成です。なかなか厳しい道ですが、これからも藤井さんの活躍に注目していきたいと思います。

さて、いよいよ明日から夏休みに入ります。休みの前半には、各学年3者懇談が予定されています。担任の先生や保護者の方と十分お話をすることで1学期の学習や生活を振り返ると共に、2学期に向け具体的に目標をはっきりとさせることができるといいな、と思います。そして、一人ひとりその具体的な目標に向かって有意義な夏休みにして欲しいと思います。

夏休み中は、毎日暑い日が続くと思います。水分をこまめにとり、熱中症には十分気をつけましょう。そして、交通ルールをしっかりと守り、交通事故にも十分気をつけてください。健康で安全な、そして充実した夏休みにして欲しいと願っています。

8月22日、またみなさんの元気な顔に会えることを楽しみにしています。

連絡

◇7月25日～8月21日まで夏休みになります。別紙「夏休みの生活」に沿って夏休みを過ごしてください。事故等に遭われた場合や、熊や不審者情報等があれば、学校へ連絡をお願いします。ただし、土曜日・日曜日と8月13日～16日は、学校閉庁日により学校に連絡をいただいても職員はおりません。その間は、高山村役場026-245-1100までご連絡をお願いいたします。



〒382-0825 上高井郡高山村大字高井4575 高山村立高山中学校



TEL 026-245-0948 050-3565-7305 FAX 026-246-5007

URL <http://www.takayama-j.ed.jp> E-mail info@takayama-j.ed.jp (文責 竹下)